

第3回飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会 議事録

日時：平成 22 年 3 月 23 日(火)

10:30 ~ 11:15

場所：飛島村役場 第 3 会議室

1. 開会

久野会長(飛島村長)

【開会挨拶】

本日は、年度末のご多用のところを飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会にご出席賜り厚く御礼申し上げます。

当協議会によるバス事業がスタートして1年が経過しますが、委員の皆様方におかれましては、事業実施と同時に、来年度に向けた事業改善をご検討いただき、前回の協議会において、その改善策を取りまとめることができました。

これを受け、先ごろ閉会しました、3月定例議会におきましても、平成22年度のバス事業に対する予算が無事可決され、来年度に向けた運行準備を本格的に開始する運びとなりました。

改めまして、当事業の推進につきまして、格別のご指導とご鞭撻を賜りました、委員各位に御礼申し上げます。

本日の会議は、運行計画の一部変更及び平成22年度の事業計画と予算についてご審議頂くことになっていますが、どうか慎重審議を賜りますようお願いいたします。

以上、はなはだ簡単ではございますが、開会のごあいさつとさせていただきます。

伊豆原委員(名古屋産業大学教授)

おはようございます。

後ほど報告があるかと思いますが、地域公共交通活性化再生総合事業については、過日事後評価委員会があり、飛島村の取組もそこで報告が行われました。積極的な評価が行われている取組として評価をいただいています。

また、久野村長からの挨拶であったように、3月議会で予算を可決いただきました。飛島村のスタイルが確立されていき、他地域のモデルとなる取組であると認識しています。

一方、国の動きとしては、過日パブリックコメントが行われた交通基本法の動きがあります。公共交通を取り巻く動きは大きく動いている状況です。

そうした中で、飛島村モデルの確立に向けた取組が進められればと思います。

事務局

- ・当協議会は、協議会規約に基づき会議録を開示させて頂く。
- ・本日は、定数の過半数を超える委員（委員 24 名、出席 18 名）のご出席を頂いておりますので、協議会規約に定める総会としての成立要件を満たしている。
- ・規約に基づき議長を会長の飛島村長にお願いしたい。

久野会長(飛島村長)

- ・議事に入る前に議事録署名人の選任をさせて頂く。議事録署名人に偕行会小羽様と三重交通久保田様を選任させて頂く。

2 . 議事

議案第 1 号 平成 22 年度運行計画の一部変更について

事務局

- ・議案第 1 号資料説明

【主な変更点】

- ・飛島公共交通バス蟹江線のダイヤ及び経路の一部変更
- ・飛島公共交通バス名港線の運休日の一部変更

久野会長(飛島村長)

- ・ご意見・ご質問があれば伺いたい。（- 意見・質問なし）
- ・議案第 1 号について、賛成の方は挙手をお願いいたします。（- 全員挙手）
- ・賛成多数。よって議案第 1 号を承認する。

議案第 2 号 平成 22 年度飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会事業計画及び収支予算について

事務局

- ・議案第 2 号資料、資料 1 ~ 3 説明

久野会長(飛島村長)

- ・ご意見・ご質問があれば伺いたい。（- 意見・質問なし）
- ・議案第 2 号について、賛成の方は挙手をお願いいたします。（- 全員挙手）

- ・賛成多数。よって議案第2号を承認する。
- ・以上で予定されました議事は終了した。円滑な議事進行にご協力ありがとうございました。それでは、進行を事務局にお返しする。

事務局

- ・ありがとうございました。
- ・続きまして「3.その他」について、ここからは、座長の伊豆原先生のお取り回しでお願いします。

3.その他

(1) 弥富市地域公共交通活性化協議会からの要望について

事務局

- ・資料4説明

伊豆原座長(名古屋産業大学教授)

- ・事務局の説明が終わりました。始めに、当協議会の委員でもある、弥富市から何か補足がありましたらお願いしたい。

横江代理(弥富市総務部防災安全課主査)

- ・弥富市でも地域公共交通活性化協議会においてバスの見直しを行っている。昨年、アンケート調査及びモニタリング調査を実施した。その中で、十四山地区からバス停設置の要望があり、周辺自治体との連携の必要性を協議した。
- ・弥富市地域公共交通活性化協議会としては、飛島村の地域公共交通活性化再生法定協議会にて、バス停設置の協議をお願いしたい。

小林委員(国土交通省中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官)

- ・バス停設置の要望について、確認であるが、次回から当該法定協議会にて協議を進めるということで良いか。

事務局

- ・弥富市地域公共交通活性化協議会において協議が進められ、事業化に向けた予算措置等が行われることを求めたい。また、飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会でも協議を行い、両方でタイミング良く協議を進めたいと考える。

伊豆原座長(名古屋産業大学教授)

- ・ 弥富市地域公共交通活性化協議会では、飛島村の関係者が参加しているのか。

後藤代理(名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会事務局長)

- ・ 企業連絡協議会の代表が委員として参加している。

伊豆原座長(名古屋産業大学教授)

- ・ 飛島村の事務局も参加して、協議ができるようにしてほしい。
- ・ 飛島コミュニティバスは大幅に事業変更する。新たに弥富市、蟹江町内を通過する。バス停の設置はないが、将来的な動きも考え、共同した仕組みが求められると思う。
- ・ 是非、自分のエリアだけでなく、3市町村全体をカバーできる協議が進められると良い。中部運輸局も複数市町村に跨ぐバス事業について協議・調査を行っている。年度明けには調査結果がまとまると思うので、これを参考に、検討を進めてほしい。
- ・ 蟹江町からは何か意見はないか。

黒川代理(蟹江町総務部企画情報課課長補佐)

- ・ 特になし。

吉沢代理(愛知県海部郡建設事務所維持管理課主任主査)

- ・ サポーター制度でのバス停留所協賛整備事業については、道路法・屋外広告物等の諸手続について、問題の無いように留意してほしい。

伊豆原座長(名古屋産業大学教授)

- ・ 手続きに関しては、事前に相談させてもらうということをお願いする。

(2) 経路変更に伴う新政成集会所の整備要望について

事務局

- ・ 資料5 説明

伊豆原座長(名古屋産業大学教授)

- ・ 集会所でのバスの切り返し等が発生するということで、法定協議会から飛島村に対して、環境整備を要望する。
- ・ 使いやすいバス停環境となるように整備をお願いすることとしたい。

(3)活性化再生総合事業の2次評価結果について

事務局

- ・資料6説明
- ・3月2日に2次評価委員会があり、赤字部分の評価結果の通知を受けた。
- ・法定協議会のホームページにて結果は公開する。
- ・資料6の3頁の【二次評価】の次の行が欠落している。「自己評価のとおり」と追加訂正する。

伊豆原座長(名古屋産業大学教授)

- ・何か質問があるか。
- ・飛島村の事業は、海南病院通院支援タクシーなど新しい仕組みがある。中部運輸局からも期待されている事業であり、評価していただいた。
- ・この報告について、質問・意見はよろしいか。(- 意見・質問無し)
- ・ありがとうございました。引き続き、事業の向上について取り組んでいただきたい。
- ・それでは、進行を事務局にお返しする。

事務局

- ・引き続き「第3回飛島村地域公共交通会議」を開催させていただくので、ご協力をお願いしたい。

- 閉会 -

会議の経過を記載して、その相違のないことを証明するため、ここに署名する。

議長 久野時男

座長 伊豆原浩二

委員 小羽正昭

委員 久保田重人